

平成6年度 和歌山県文化賞

うわよこ て まさ たか
上横手 雅 敬

住 所：京都府宇治市

出 身 地：和歌山県伊都郡高野口町

生 年：昭和6年

◎業績及び経歴

昭和28年京都大学文学部史学科卒業。京都女子大学講師、京都大学教授を経て、龍谷大学教授及び京都大学名誉教授。文学博士。

日本史学、とりわけ中世史学界の第一人者として研究を続けてこられ、その著書も多い。

鎌倉時代政治史関係の論考を集成した「鎌倉時代政治史研究」、公家・武家を統合した立場から中世国家の全体構造を分析した「日本中世国家史論考」は、いずれも基礎資料の細密な分析と理論構成によって、広く鎌倉時代、さらには中世を展望し、鋭い切り口と豊かな構想に支えられている。

なお、「鎌倉時代—その光と影」では、多くの謎に包まれた鎌倉時代を、公武関係を中心として、後白河法皇と頼朝、承久の乱、執権政治、得宗専制、人物論、幕府の滅亡等に焦点をあて、史実のベールを次々に剥いでゆき、興味あふれる筆致と簡明でわかりやすい文体の中に、鋭い指摘や新しい見解が随所にちりばめられている。

また、長年和歌山県史編さん委員会委員として県史研究に携わられた。昭和50年より始まった県史編さんは、長い年数と多くの先生方の研究により平成4年完成したが、ここでも多くの史料をもとに和歌山県史編さん事業に大いに貢献され、その業績は多大である。

■現在

龍谷大学教授

京都大学名誉教授

■主要論著

「北条泰時」（吉川弘文館：昭和33年）

「源平の盛衰」（講談社：昭和44年）

「日本中世政治史研究」（塙書房：昭和45年）

「平家物語の虚構と真実」

（講談社、のち塙書房：昭和48年）

「源義経」（平凡社：昭和53年）

「鎌倉時代政治史研究」

（吉川弘文館：平成3年）

「鎌倉時代—その光と影」

（吉川弘文館：平成6年）

「日本中世国家史論考」（塙書房：平成6年）